

## ●議事概要（速報）

※正式な議事録については、後日HP上に公開しますので、そちらをご参照下さい。

### 1) 我が国産業の国際競争力強化を図るための今後の港湾政策のあり方について

#### ①答申（案）及び関連資料について事務局より説明を行った。

#### ○委員からの主な意見は以下のとおり

- ・ トランシップ輸送とダイレクト輸送のそれぞれについて、輸送運賃がいくらなのかというデータがあると、もう少しスーパー中枢港湾と地域の港湾の役割がいろいろ見えてくるのではないか。それがスーパー中枢港湾の施策の参考になると思う。
- ・ 「港を核とした地域活性化」は港湾整備が企業の立地として実を結んだ非常に具体的な話であるので、もっと全国的にアナウンスしていくべき。
- ・ 産業の国際競争力の強化等について、言及はされているが、国際的な港湾間の競争力についての視点を補強する必要がある。
- ・ 今後の課題に「国と地方との適切な役割分担」とあるが、国家戦略という観点からの問題点は、「国と地方との適切な役割分担」以外にもあるので表現を工夫すべき。
- ・ 「達成すべき成果」の具体性にバラツキがある。臨海部物流拠点や臨海部産業エリアといったこれまで議論してきた内容を盛り込むべき。
- ・ 地域の港湾への施策展開についてもメリハリをつけて実施していくことが重要。
- ・ 産業立地等による地域の活性化の記述がある一方で、スーパー中枢港湾へ貨物を集約するというのは、東京一極集中が効率的であるというように感じられる。産業立地の問題と、コンテナ機能の集約の問題とは別問題であり、表現を工夫すべき。
- ・ ダボス会議でも環境が一番の話題であり、その中でも大半は海運と鉄道の利用促進である。今回の答申（案）でも、環境に関し、海運や鉄道の利用が触れられており、良いと思うが、「達成すべき成果」に向けて積極的に取り組んでいくことが重要。
- ・ 国と地方の関係について、国が地方について指導すべきことは何かという項目を立てて整理し、議論するべきではないか。
- ・ 民間活動への更なる支援については、もう少し記述を拡げても良いのではないか。
- ・ 港湾手続の簡素化・電子化については、NACCSと港湾EDIのみならず、他の関係システムと一元化など、最新の情報を踏まえて、記述を変更すべき。
- ・ 港湾コスト3割縮減とあるが、港湾コストの定義がよく分からない。コス

トを「見える化」して議論していかないといけない。また、どのように実現していくかについても考えていくべき。

- ・地域の港湾について、もう少し道路、鉄道、空港といった地域のインフラと併せて議論していくべきではないか。

○今回の議論を踏まえ、欠席委員を含め、各委員に再照会を行い、答申（案）を修正した後、パブリックコメントを実施し、3月を目途に答申をとりまとめることとなった。

## 2) 港湾事業関係の中期計画（仮称）について報告がなされた。

○委員からの主な意見は以下のとおり

- ・本分科会での議論と、中期計画について、相互の関係と、社会資本整備重点計画等、他の計画との関係性を整理して示すべき。

○中期計画と他の計画との関係について、全体を整理して改めてお示しすることとなった。

以上

# 我が国産業の国際競争力強化等を図るための今後の港湾政策のあり方

## 基本方針

港湾政策を通じ、わが国産業の国際競争力強化や国民生活の質の向上に貢献する。

このため、(中略)わが国の企業に、諸外国との間で、貨物を安く、速く、確実に、安定的に、いつでも、直接輸出入のできる港湾サービスを提供する。

## 今後の港湾政策の展開

### ①スーパー中樞港湾政策の推進による基幹航路の維持・確保

#### 方針

- ・欧米基幹航路の維持・確保
- ・物流拠点形成による輸出入機能の強化

#### 達成すべき成果

- ・2010年までにコスト3割縮減、リードタイム1日程度へ短縮
- ・ターミナル搬出入の迅速化、ターミナル周辺の渋滞解消

### ③産業の活性化・企業の立地促進

#### 方針

- ・企業立地の促進
- ・原材料、製品等の輸出入機能の強化
- ・臨海部用地の活用、利用環境の整備

#### 達成すべき成果

- ・海上貨物の輸送コストの低減
- ・リサイクルポートにおける臨海部への企業立地数増大

### ②企業活動を支えるアジア物流ネットワークの実現

#### 方針

- ・直接航路を利用した貿易の支援
- ・多様なニーズに対応した物流ネットワークの構築

#### 達成すべき成果

- ・地方圏と東アジアとの港湾取扱貨物量増大
- ・海上貨物の輸送コストの低減

### ④港湾手続の統一化・簡素化等港湾サービスの一層の向上

#### 方針

- ・港湾手続の統一化・簡素化・電子化の推進
- ・保安対策の高度化
- ・環境への配慮等

#### 達成すべき成果

- ・主要な港湾管理者において、ワンストップで電子申請を可能にする

# 我が国産業の国際競争力強化等を図るための今後の港湾政策のあり方

## 今後推進すべき産業・地域経済支援のための具体的港湾施策

### 1. スーパー中枢港湾政策の充実・深化

#### (1) スーパー中枢港湾政策の進捗管理等をふまえた政策の推進

○ 施策の進捗状況の管理、検証や、必要に応じて新たな政策目標を検討するなど、スピード感のある施策を実施

#### (2) コンテナターミナル機能の強化

- ① 高規格コンテナターミナルの早期形成
- ② ターミナルの機能向上に向けた取り組み

#### 「臨海部物流拠点(ロジスティクスセンター)」の形成

- ③ 1 用地・物流施設の提供
- ③ 2 貨物取扱機能強化
- ③ 3 規制緩和等

#### (3) 港湾行政の広域連携の推進

#### (4) スーパー中枢港湾への国内輸送の円滑な接続

- ① コンテナ横持ち輸送の活性化、利用促進(内航等)
- ② 広域幹線道路との連携強化
- ③ 鉄道輸送との連携強化

### 4. 物流シーズ・ニーズに対応した港湾サービスの一層の向上 等

- ① シーズ・ニーズを的確に把握するマーケティング機能の強化
- ② 次世代シングルウィンドウの稼働および港湾管理者手続の統一化・簡素化の推進
- ③ 港湾物流情報プラットフォームの構築
- ④ 国際物流における港湾サービスの改善に向けた関係国への働きかけ

### 2. 地域の港湾におけるアジア物流ネットワークの実現

#### (1) アジア域内コンテナ航路における企業のサプライチェーン構築の支援

- 高頻度の小型コンテナ船寄港や長期間のコンテナ蔵置等への対応
- 国際RO-RO航路等、アジア諸港との高速輸送の推進

#### (2) スーパー中枢港湾と地域の港湾との適切な役割分担等

- ① スーパー中枢港湾と地域の港湾の果たす役割
  - ・ スーパー中枢港湾では、基幹航路をはじめ多方面・多頻度でダイレクトといった高質な航路ネットワークを引き続き維持・確保
  - ・ 地域の港湾では、アジア地域との貿易に対応したアジア諸港とのダイレクト航路を拡充
- ② 地域の港湾の進むべき方向
  - ・ 企業のニーズにあったアジア地域を中心としたダイレクト航路を確保するため、それぞれの航路の貨物量を一定量確保

### 3. 産業・地域経済への支援

#### (1) バルク貨物等に対応した多目的国際ターミナルの形成

#### 「臨海部産業エリア」の形成

- ① バルク貨物取扱機能の強化
- ② 用地等の提供
- ③ 貨物取扱機能強化
- ④ 規制緩和等

#### (2) 静脈物流システムの構築

- ① 保安対策の高度化
- ② 地球温暖化対策

# 我が国産業の国際競争力強化等を図るための今後の港湾政策のあり方

## 港湾政策の推進に向けた留意事項

### 1. 政策推進体制

- ・国と地方との適切な役割分担
- ・民間ノウハウの活用や民間活力の積極的な導入

### 2. 政策推進のための期間

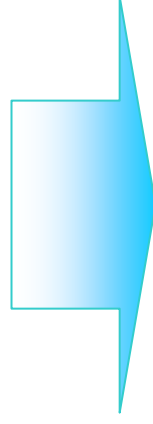
- ・早急に実施すべき施策は直ちに実施し、概ね5年以内をめどに政策の成果を得る
- ・工程表を作成し進捗管理
- ・施策の成果の達成状況の随時の検証
- ・必要に応じ、施策の充実・深化を図る

### 3. 投資の重点化・効率化

- ・選択と集中、投資効果の早期発現に配慮した施策実施
- ・港湾施設の計画的な維持管理の推進

### 4. 今後の課題

- (1) 国と地方との適切な役割分担
- (2) 民間活動への更なる支援
- (3) スーパー中枢港湾と地域の港湾の適切な役割分担等の検討



更なる検討が必要な課題については、港湾分科会において新たに検討の場を設け、引き続き速やかに検討を開始する